

## ブランパンが2016年世界海洋デーを祝う

2016年6月8日、ブランパンはニューヨークの国連本部にて、今年の世界海洋デーのレセプションを国連海事海洋法課（DOALOS）と共同開催しました。ブランパンが国連（ニューヨーク）および DOALOS と連携して世界海洋デーの催しを行うのは、今年で3年目です。

国連は毎年6月8日に世界海洋デーを祝っており、その記念行事の一環として、国連法務部海事海洋法課がニューヨークの国連本部でレセプションを企画・開催します。事務局長から世界海洋デーに合わせたメッセージが贈られ、世界海洋デー写真コンペティションの優勝者が発表されます。海事海洋法課長でレセプションの名誉司会者を務めるガブリエレ・ゲッチェ=ワンリ氏は、世界海洋デーの式典に出席した150人以上のゲストを歓迎しました。

法務部事務次長で国連の法律顧問を務めるミゲル・デ・セルパ・ソアレス氏による歓迎のあいさつに続き、ブランパン米国ブランドマネージャーのデイヴィッド・ジェリーが、ブランドの長年にわたる海への関わりおよび国連との継続的なパートナーシップについて話しました。

ブランパンは、初めて世界海洋デーの催しに関わった2013年、ニューヨークの国連本部で開催された見事な海中写真展「オーシャンズ（Oceans）」のスポンサーを務めました。来場者が10万人を超えたこの写真展では、健全な海の生態学的・経済的な重要性、および傷つきやすい生態系と海底の生物を保護する必要性に焦点が当てられました。写真展で展示されたのは、ブランパンが毎年発行する海中世界の写真集『エディション フィフティ ファゾムス』にも携わる、16人の世界的に有名な写真家の作品でした。

今回初めて、太平洋からポリネシアの伝統的な航海カヌー、「ホクレア」が世界海洋デーの催しに合わせて国連にやってきました。ポリネシア航海協会会長でホクレアのマスター航海士であるナイノア・トンプソン氏は、優れた講演でも知られおり、自らが目の当たりにした海の状態について報告するとともに、ホクレアの航海中に国連事務局長や世界的指導者、団体から託された活動への取り組みを紹介しました。

例年に倣って、世界海洋デーの海洋写真コンペティションの優勝者も発表されました。度々コンテストで優勝し、特別ゲストとして招かれたエレン・カイレーツが、2015年写真コンペティションの優勝者を発表しました。誰でも参加できる無料のコンテストは、こうした肯定的なイメージを生み出し、広める上での刺激となることを目指し、海的美しさと重要性および、人間の海への関わりを伝えようとするものです。

この晩の締めくくりは、ハワイアン・セレネイダーズ&ダンサーズによる舞台と、米国の名高いシンガーソングライター、ジャック・ジョンソン氏、ポーラ・フーガ氏、チャッキー・ボーイ・チョック氏、ブラザー・ノラン氏を加えた特別演奏でした。

毎年世界海洋デーの夕べには、エンパイアステートビルが海の各層を表現した世界海洋デーの色、ホワイト、ブルー、パープルに照らされます。特に2016年世界海洋デーは素晴らしいイベントとなりました。ブランパンは今年の世界海洋デー記念行事に参加できたこと、国連との絆を深め、この大切な大義を巡る意識を積極的に高める機会に恵まれたことを光栄に思います。

## ブランパンについて

ブランパンは1953年に初のモダンダイバーズウォッチ、フィフティファズムスを発表して以来、積極的に海と関わりを持ってきました。この遺産を継承し、ブランパンは海洋保全・保護活動に力を尽くしており、重要な学術プロジェクト、海洋探検、水中撮影、環境フォーラム、一般へ向けた展示活動、出版物や専用ウェブサイトへの支援を通じてこれらの課題への関心を高めようとしています。こうしたすべての分野におけるブランドの努力は、ブランパンオーシャンコミットメントとして世界に伝えられています。

## 世界海洋デーについて

世界海洋デーは2009年に、現在国際社会が直面する海洋関連の問題について全世界的な意識を高める機会として、国連によって正式に定められました。